

R7年度 高松市立庵治小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

「自ら考え、豊かな人間性と実践力のあるたくましい子どもの育成」
めざす児童像 ～ゆたかな子 たくましい子 かんがえる子 みがきあう子～

【本校の現状と課題】

- ・ 「新体力テストの数値分析の結果（R6年度）」より
 - 新体力テストにおいて、男子は20m シャトルランとソフトボール投げ、女子は反復横跳びとソフトボール投げが県平均を上回っている学年が多い。
 - 男子は上体起こし、女子は50m 走、立ち幅跳び、20m シャトルランの学校平均記録が県平均を下回っている学年が多い。
- ・ 児童の実態より
 - 多くの児童が休み時間等に広い運動場で、サッカー・ドッジボール・鬼ごっこなどをして、屋外でしっかり遊ぶことができているが、屋内で過ごすことを好む児童も一定数いるため、積極的な外遊びを推奨していく必要がある。

【取組み】

あじっこチャレンジ カードの活用

- ・ 竹馬、ホッピング、一輪車等の技をレベル別に設定し、体育の授業や休み時間を利用してチャレンジし、達成できた技をカードに記録する。

なわとび記録会

- ・ 校内なわとび記録会（3分間8の字大なわとび、学年×1分間とび等）を実施し、学級やふれあい班で目標回数達成に向けてチャレンジする。目標を達成できた学級やふれあい班は表彰する。

マラソン大会

- ・ 学年別のコース（低学年:500m、中学年:750m、高学年:1000m）を設定し、前年度の記録の更新や自分の立てた目標記録の達成をめざして、マラソンチャレンジに取り組む。

【目標】

- ・ 「新体力テストの数値における目標」
 - 男女とも、上体起こし、50m 走において県平均を上回る学年数を4学年以上にする。
 - 新体力テストの総合評価の人数 $\{(A+B) - (D+E)\}$ の数値がプラス値の学年数を男子は5学年以上、女子は3学年以上にする
- ・ 運動に対する意識・運動習慣における目標
 - 外遊びが好きで、進んで体力づくりをするたくましい児童を育成する。